
宇宙電波懇談会

「日本学会会議マスタープラン2020」に向けた 宇宙電波コミュニティの意向調査

宇宙電波懇談会・運営委員会

発表者：古屋 玲(徳島大学)

ご協力をどうもありがとうございました。

- 回答してくださった方々
- 各プロジェクト関係者, とりわけHP作成の対応をしてくださった皆さま
- 実施までのさまざまな段階でご意見をお寄せいただいた皆さま

日本学術会議「重点大型計画に関するマスタープラン2020」策定に向けて

- ・ FY2017まで：強い制限がなく、比較的自由に議論できる状況
- ・ FY2018以降：何らかの具体的な対応が必要

最近の宇電懇シンポジウム

- ・ FY2015「電波天文学の現状と将来展開」：**サイエンスに焦点をあて発展の方向性**を議論、周辺分野の研究者による視点
- ・ FY2016「若手研究者の本音とシニア層の本音：研究の**多様性**と深さを今後追求するために」：さまざまな活動への**若手の参画**を促すためには？
- ・ FY2017「未来を拓く技術開発とその将来展望」：**開発研究に焦点**, **マスタープラン2020**も視野に

2017年春から夏にかけて、運営委員会委員による聞き取り調査

各大型プロジェクトの中核的な研究者に対して

- ・「MP2020に向けてのアンケート実施をどのように考えますか？」

過去の運営委員や「長」を経験した50代以上の研究者に対して

- ・「MP2020に向けてのアンケート実施をどのように考えますか？」
- ・「野辺山やALMAの建設を振り返り、大局的な視点での助言を」

アンケートを実施した場合, “得られるもの vs. 失うもの”を議論

- 「いつまでも玉虫色の議論で良いのか？」
 - 「いつかは(それが何であれ)決断しないといけない」
 - 「今, 意見を集約しないと他のコミュニティは我々をどう捉えるか？」
 - 「まだ, 決めるべき時期ではない」
-
- 「アンケート結果, 特に数値部分が独り歩きしてしまう懸念」
 - 「自由な発想から生まれた意見をボトムアップさせ, それらを集約させてきた従前の進め方を否定することに繋がらないか？」
-
- 「宇電懇会員だけの意見集約では対応できない課題もある」
 - 「MP2020とアンケート結果をどこまで深くリンクさせるべきか？」

結論：アンケートを実施してみないとわからない視点がある

- MP2020とは“弱く”リンクさせるに留める.
- 野辺山やALMA建設を経験されたシニア層の懸念を慎重に配慮する.
- 回答率を向上させるための方策.

コンセプト

- ・ 質問項目は, MP2020と宇電懇シンポの議論活性化の両方に使えるように
 - ・ MP2020向け
 - ・ 各計画に参加をホントウに希望する研究者の実数把握を意図【真の狙い】
 - ・ ALMAを軸に考える.
 - ・ 宇電懇シンポ向け
 - ・ 宇電懇のあり方も含めた問い → 【明日の全体討論】
- ・ 4つの大型計画とngVLAおよび「ALMA拡張(以下, exALMA)」を区別
- ・ 本質的に同趣旨の質問を視点を変えて用意[冗長性を確保して検証する為]

依頼

- ・ 4つの大型計画とexALMAに情報提供(場合によってはHP作成)を依頼.

実装

- ・ 二重投稿防止と再編集機能使用のためにGoogle Formsを用いて作成.

【質問.1】 回答者について

ポジション, 専門分野, コミュニティ

【質問.2】 各大型計画に対するご意見

自身の研究との関連性, 自身の関与の強弱, 自由記述

【質問.3】 コミュニティへの各大型計画がもたらす波及効果

宇宙電波研究への波及効果, 関連分野への波及効果, 自由記述

【質問.4】 ngVLA, 45m鏡, 本シンポに関する問い, 自由記述

告知

- ・ ryunetを使用, リマインダーは2回

回答期間

- ・ 2018年2月?日から3月9日19:00までの約3週間?

これまでの集計

- ・ 個人を特定できる情報を破棄し, Google Forms出力を利用
【紙媒体配付資料:記述式の回答順はシャッフルしています.】
- ・ Google Formsの出力する計数を「手で」電子化し, 見かけの
相関や傾向を確認

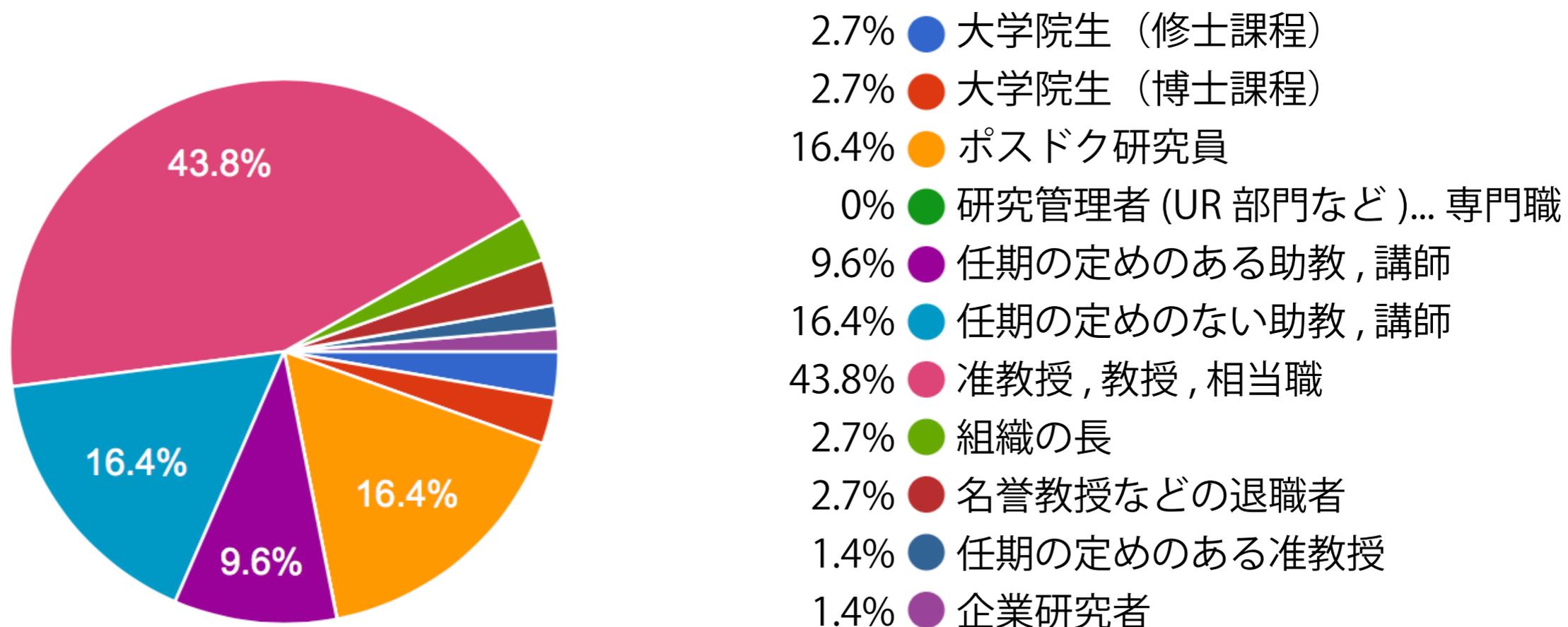
回答率

- ・ 会員358名に対して73名の回答 ; 回答率 ~20%

全73名の回答者のうち, 記述式の回答を記入した人の割合

- ・ 全73の回答数に対し, 大旨 ~11%
- ・ 全73の回答数に対し, SKAに関して ~17%
- ・ 全73の回答数に対し, 本シンポジウムに関して ~35%

73 件の回答

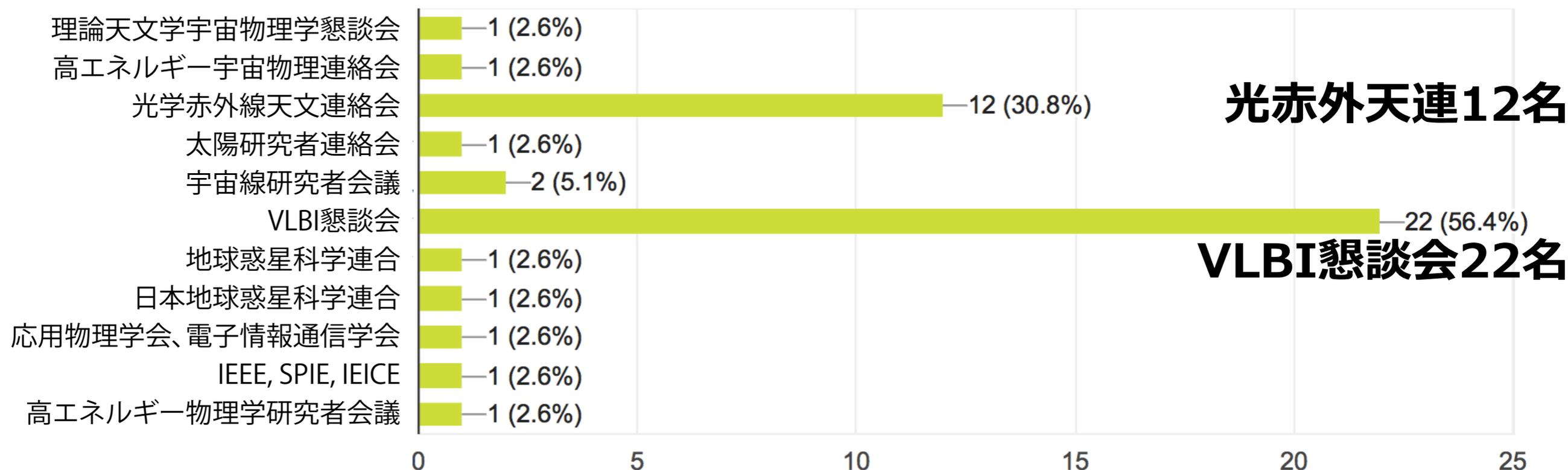


約60%は常勤の研究教育職 → コミュニティの中核の意見を拾っている。
博士院生が僅か2名。

宇電懇以外に加入している学術コミュニティ団体を教えてください。

[複数回答可]

39件の回答

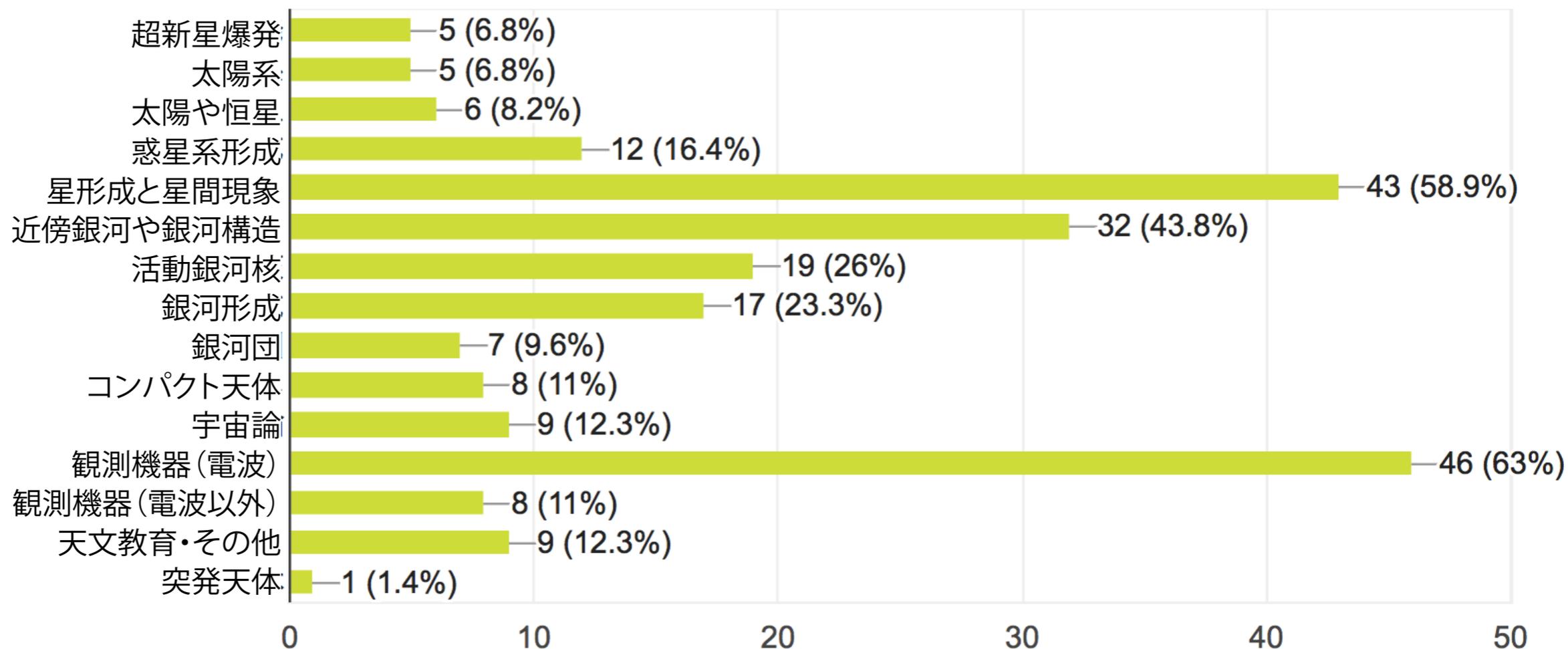


注：回答者は73名中の39名

あなたのご専門・ご興味のうち、あてはまるものをおしえてください。

[複数回答可]

73 件の回答



観測機器(電波以外)の多さにも注目

観測機器(電波)が多いのは「二足の草鞋世代」が回答者の~60%のためか？

